

骨 材 試 験 成 績 表

目 的 配 合 設 計

報告年月日 2026年2月

報 告 者 津 田 喜 明

試験項目		試験規格	5号碎石	6号碎石	7号碎石	粗砂	スクリーニングス	石粉		
密度	表乾	JISA 1109 JISA 1110	2.636	2.630	2.631	2.583	2.668			
	かさ		2.597	2.588	2.591	2.539	2.621			
	見掛		2.703	2.701	2.701	2.656	2.750	2.710		
吸水量 (%)	JISA 1109 JISA 1110	1.50	1.62	1.56	1.74	1.78	0.01			
ロゼットすりへり減量 (%)	JISA 5001 JISA 1121		17.5							
安定性 (%)	JISA 1122	2.0	1.4	0.7	2.5	2.1				
骨材の微粒分量試験通過量 (%)	JISA 1103	0.09	0.12	0.30						
軟石含有量 (%)	JISA 1126	0.0	0.0							
偏平/細長石片の含有量 (%)	舗装調査・試験法便覧	1.71	1.66							
単位容積質量 g/ml	JISA 1104									
粘土塊含有率 (%)	JISA 1137	0.09	0.07	0.10						

	ふるい目の開き	5号碎石	6号碎石	7号碎石	粗砂	スクリーニングス	石粉		
	通過質量百分率 (%)	53.0 mm							
37.5									
31.5									
26.5		100.0							
19.0		99.5	100.0						
13.2		0.4	99.4		100.0				
9.5									
4.75			4.9	100.0	98.5	100.0			
2.36			0.3	6.9	90.7	93.9			
1.18									
600 μm				0.2	47.5	47.5			
300					20.1	20.4	100.0		
150					2.2	14.6	97.9		
75				1.3	10.7	88.0			

骨材の粒径加積曲線図

目 的 配 合 設 計

報告年月日 2026年2月

混合物の種類 アスファルト安定処理

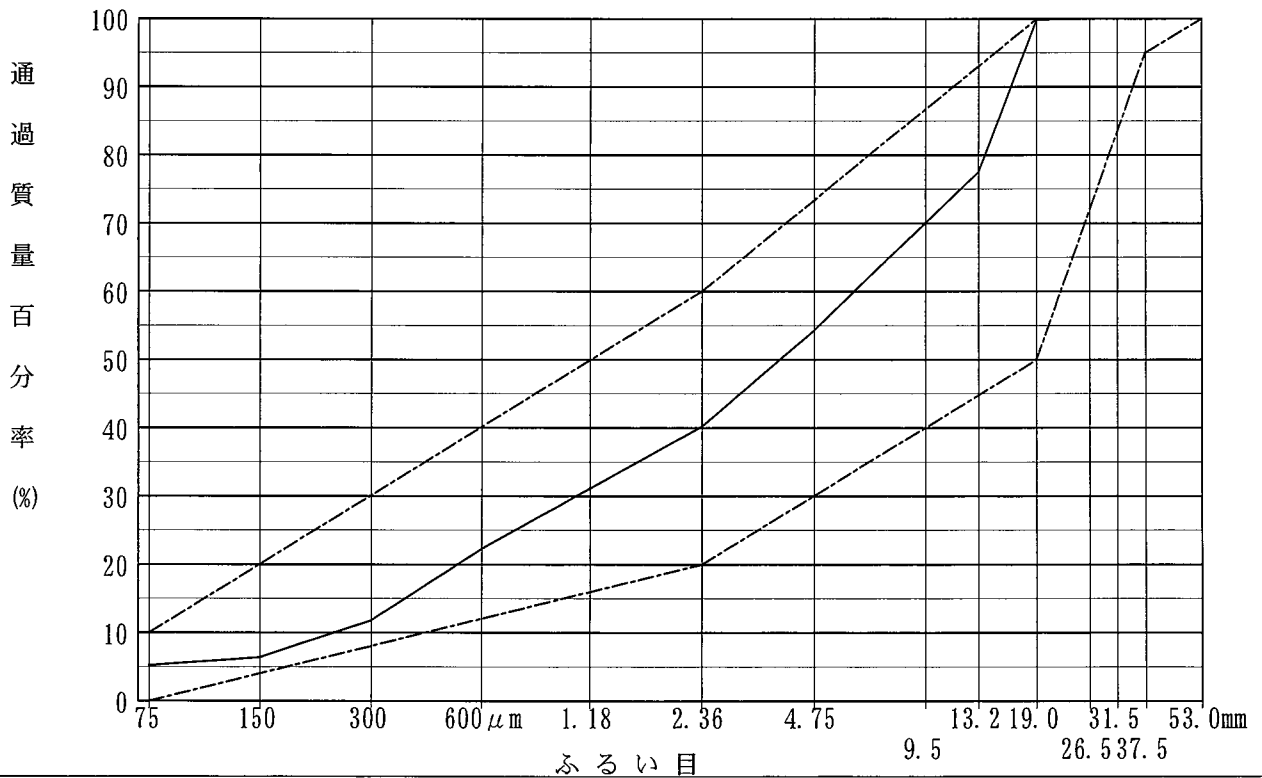
試 験 者 津田 喜明

・合成粒度

ふるい目	合成粒度	粒 度 範 囲
53.0 mm		100
37.5		95 ~ 100
31.5		
26.5	100.0	
19.0	99.9	50 ~ 100
13.2	77.5	
9.5		
4.75	54.3	
2.36	40.2	20 ~ 60
1.18		
600 μm	22.3	
300	11.8	
150	6.4	
75	5.2	0 ~ 10

・粒径加積曲線図

----- 粒度範囲
 ———— 合成粒度



混合物の理論最大密度計算表

目的 配合設計

報告年月日 2026年2月

混合物の種類 アスファルト安定処理

試験者 津田 喜明

①	②	③			④	⑤
骨材の種類	骨材の配合率 (%)	骨材の密度			計算に用いる密度	$\frac{②}{④}$
		表乾	かさ	見掛		
5号碎石	22.5	2.636	2.597	2.703	2.703	8.324
6号碎石	24.0	2.630	2.588	2.701	2.701	8.886
7号碎石	11.0	2.631	2.591	2.701	2.701	4.073
粗砂	25.5	2.583	2.539	2.656	2.656	9.601
スクリーングラス	13.0	2.668	2.621	2.750	2.750	4.727
石粉	4.0			2.710	2.710	1.476
Σ⑤=						37.087

⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
アスファルト量 (%)	アスファルトの密度	$\frac{⑥}{⑦}$	$\frac{\Sigma⑤(100-⑥)}{100}$	⑧+⑨	理論最大密度 100/⑩
3.0	1.040	2.885	35.974	38.859	2.573
3.5	1.040	3.365	35.789	39.154	2.554
4.0	1.040	3.846	35.604	39.450	2.535
4.5	1.040	4.327	35.418	39.745	2.516
5.0	1.040	4.808	35.233	40.041	2.497
4.0	1.040	3.846	35.604	39.450	2.535

マーシャル安定度試験 (その1)

目的 配合設計

試験年月日 2026年2月

混合物の種類 アスファルト安定処理

試験者 津田 喜明

アスファルトの種類 60-80 アスファルトの密度 (A) 1.040 g/cm³ アスファルトの温度 157 (°C)

骨材の温度 190 (°C) 突固め時の温度 144 (°C) 突固め回数 50 回 力計の係数 (B) ロードセル(1.000)

試験条件	供試体番号	①	②	③	④	⑤	⑦ 密度		⑨	⑩	⑪	⑫	⑬ 安定度		⑮	⑯ 備考	
		アスファルト量 (%)	供試体平均厚 (cm)	空中質量 (g)	水中質量 (g)	表乾質量 (g)	容積 (cm ³)	かさ (g/cm ³)	理論 (g/cm ³)	アスファルト容積 (%)	空隙率 (%)	骨材間隙率 (%)	飽和度 (%)	力計の読み	安定度 (kN)		フロ値 (1/100cm)
標準	1	3.0	6.35	1178.9	670.9	1183.1	512.2	2.302						6.14	6.14	20	
	2		6.36	1180.5	670.3	1184.4	514.1	2.296						5.91	5.91	19	
	3		6.38	1181.0	669.2	1185.3	516.1	2.288						5.72	5.72	19	
標準	4	3.5	6.34	1195.2	686.2	1198.7	512.5	2.332						6.40	6.40	23	
	5		6.33	1194.1	686.9	1197.4	510.5	2.339						6.56	6.56	22	
	6		6.32	1193.7	687.9	1197.3	509.4	2.343						6.76	6.76	24	
標準	7	4.0	6.35	1209.7	699.5	1212.0	512.5	2.360						7.13	7.13	27	
	8		6.36	1210.1	699.2	1212.7	513.5	2.357						6.98	6.98	26	
	9		6.34	1211.2	702.0	1213.6	511.6	2.367						7.23	7.23	29	
標準	10	4.5	6.37	1211.5	698.8	1213.3	514.5	2.355						7.36	7.36	27	
	11		6.36	1210.8	700.2	1212.5	512.3	2.363						7.52	7.52	29	
	12		6.35	1208.8	700.7	1210.7	510.0	2.370						7.47	7.47	29	
標準	13	5.0	6.41	1208.7	697.8	1209.9	512.1	2.360						7.84	7.84	31	
	14		6.39	1209.9	697.5	1211.2	513.7	2.355						7.66	7.66	28	
	15		6.42	1210.8	696.5	1212.0	515.5	2.349						7.47	7.47	28	
							2.355	2.497	11.3	5.7	17.0	66.5		7.66	29		

(注1) ⑤-④

(注2) $\frac{③}{⑥}$

(注3) $(1 - \frac{⑦}{⑧}) \times 100$

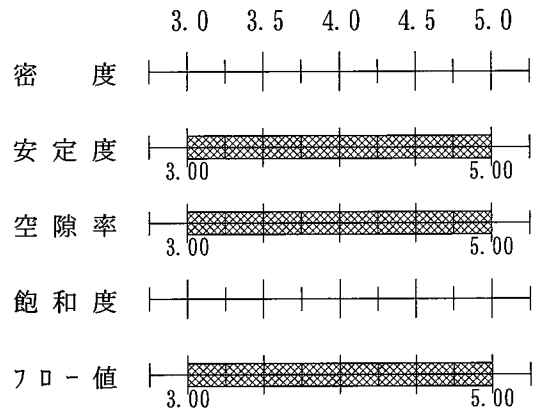
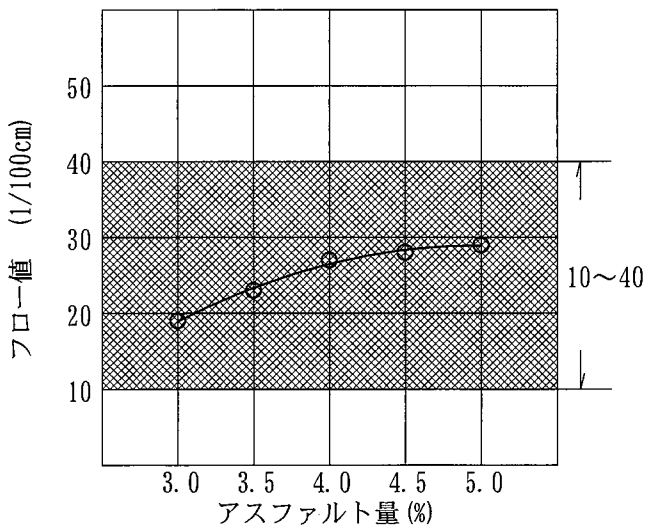
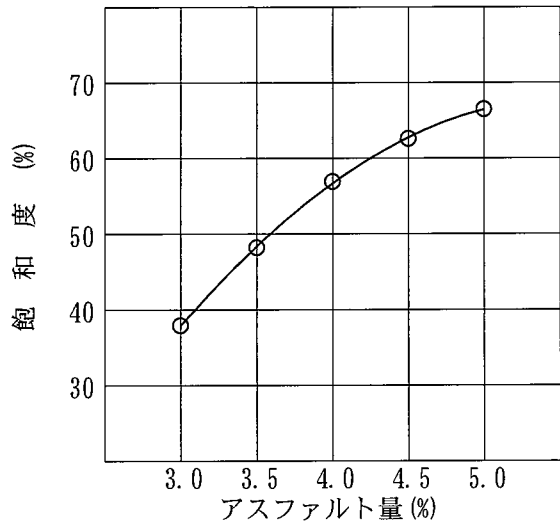
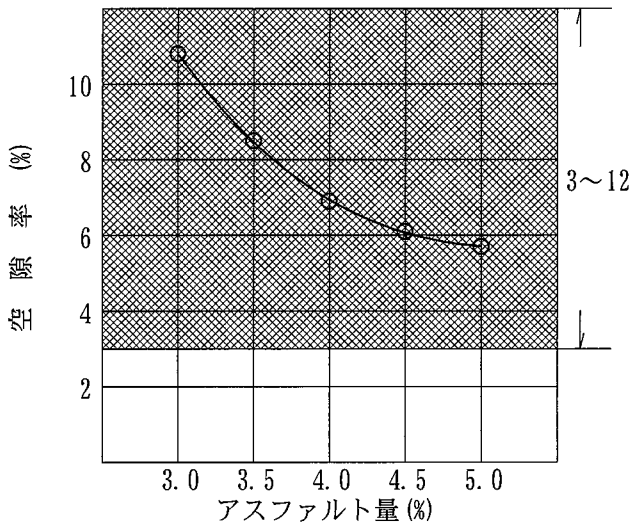
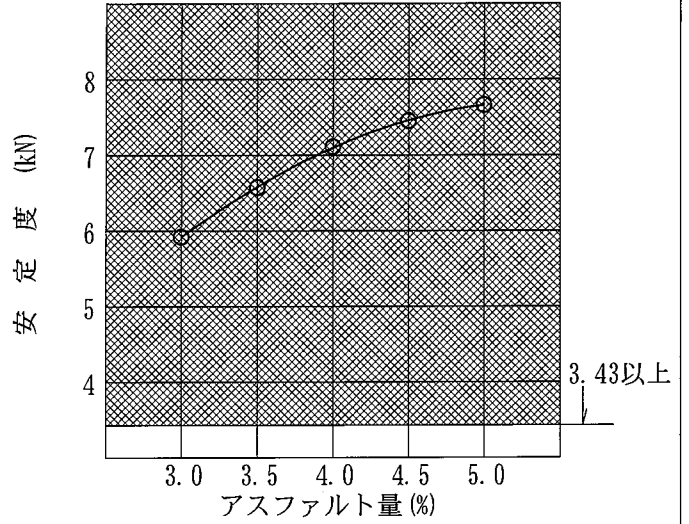
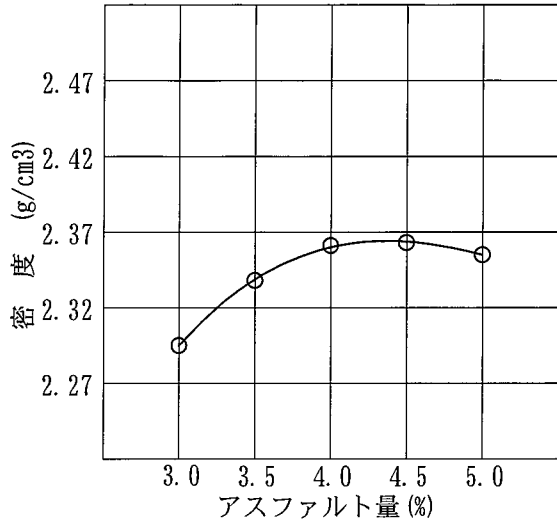
マーシャル安定度試験 (その2)

目的 配合設計

試験年月日 2026年2月

混合物の種類 アスファルト安定処理

試験者 津田 喜明



共通範囲 3.00 ~ 5.00 (%)
 最適アスファルト量 4.0 (%)

過去の実績・経済性を考慮しOACは4.0とする

配合設計まとめ

混合物の種類 アスファルト安定処理

報告年月日 2026年2月

試験者 津田 喜明

1. 骨材配合率

材 料	5号碎石	6号碎石	7号碎石	粗砂	スクリーニングス	石粉		
配合率 (%)	22.5	24.0	11.0	25.5	13.0	4.0		

2. 合成粒度

ふるい目	53.0mm	37.5	31.5	26.5	19.0	13.2	9.5	4.75	2.36	1.18	600 μ m	300	150	75
通過率				100.0	99.9	77.5		54.3	40.2		22.3	11.8	6.4	5.2

3. 最適アスファルト量

OAC・・・ 4.0 %

ホットビン粒度設計

目的 試験練り

報告年月日 2026年2月

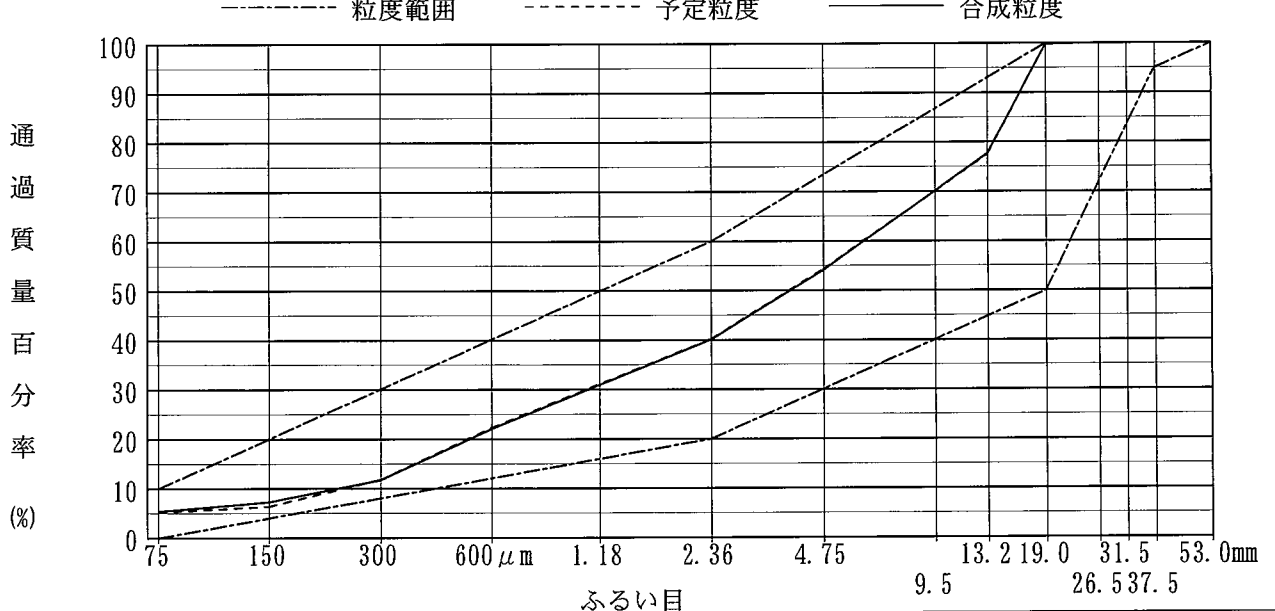
混合物の種類 アスファルト安定処理

試験者 津田 喜明

ビン	5 BIN	4 BIN	3 BIN	2 BIN	1 BIN	ダスト	石粉						
配合率 (A) (%)		22.0	22.0	15.0	35.0	2.0	4.0						
通過質量百分率	53.0 mm												
	37.5												
	31.5												
	26.5		100.0										
	19.0		99.1	100.0									
	13.2		1.2	97.3	100.0								
	9.5												
	4.75		0.2	1.5	85.2	100.0							
	2.36			0.2	1.6	96.8							
	1.18												
(B)	600 μm				0.2	45.9	100.0						
	300					16.3	99.3	100.0					
(%)	150					4.3	93.4	97.8					
	75					0.8	78.1	88.0					

ホットビンのふるい目の大きさ別配合率 (A) × (B) / 100													合成粒度	予定粒度
ふるい目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
53.0 mm														
37.5														
31.5														
26.5		22.0											100.0	100.0
19.0		21.8	22.0										99.8	99.9
13.2		0.3	21.4	15.0									77.7	77.5
9.5														
4.75		0.0	0.3	12.8	35.0								54.1	54.3
2.36			0.0	0.2	33.9								40.1	40.2
1.18														
600 μm				0.0	16.1	2.0							22.1	22.3
300					5.7	2.0	4.0						11.7	11.8
150					1.5	1.9	3.9						7.3	6.4
75					0.3	1.6	3.5						5.4	5.2

粒径加積曲線図



混合物の理論最大密度計算表

目的 試験練り

報告年月日 2026年2月

混合物の種類 アスファルト安定処理

試験者 津田 喜明

①	②	③			④	⑤
骨材の種類	骨材の配合率 (%)	骨材の密度			計算に用いる密度	$\frac{②}{④}$
		表乾	かさ	見掛		
5号砕石	22.5	2.636	2.597	2.703	2.703	8.324
6号砕石	24.0	2.630	2.588	2.701	2.701	8.886
7号砕石	11.0	2.631	2.591	2.701	2.701	4.073
粗砂	25.5	2.583	2.539	2.656	2.656	9.601
スクリーングラス	13.0	2.668	2.621	2.750	2.750	4.727
石粉	4.0			2.710	2.710	1.476
$\Sigma ⑤ =$						37.087

⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
アスファルト量 (%)	アスファルトの密度	$\frac{⑥}{⑦}$	$\frac{\Sigma ⑤ (100-⑥)}{100}$	⑧+⑨	理論最大密度 100/⑩
4.0	1.040	3.846	35.604	39.450	2.535

マーシャル安定度試験 (その1)

目的 試験練り 試験年月日 2026年2月
 混合物の種類 アスファルト安定処理 試験者 津田 喜明
 アスファルトの種類 60-80 アスファルトの密度(A) 1.040 g/cm³ アスファルトの温度 157 (°C)
 骨材の温度 190 (°C) 突固め時の温度 144 (°C) 突固め回数 50 回 力計の係数(B) ロードセル(1.000)

試験条件	供試体番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦ ⑧ 密度		⑨	⑩	⑪	⑫	⑬ ⑭ 安定度		⑮	⑯
		アスファルト量	供試体平均厚	空中質量	水中質量	表乾質量	容積	かさ	理論	アスファルト容積	空隙率	骨材間隙率	飽和度	力計の読み	安定度	フロー値	備考
		(%)	(cm)	(g)	(g)	(g)	(cm ³)	(g/cm ³)	(g/cm ³)	(%)	(%)	(%)	(%)		(kN)	(1/100cm)	
							(注1)	(注2)	$\frac{① \times ⑦}{(A)}$	(注3)	⑨+⑩	$\frac{⑨}{⑪}$		(B) × ⑬			
標準	1		6.38	1210.7	701.6	1213.0	511.4	2.367						7.39	7.39	27	
	2		6.35	1209.5	699.5	1211.7	512.2	2.361						7.21	7.21	25	
	3	4.0	6.33	1210.9	699.0	1213.3	514.3	2.354						7.03	7.03	25	
									2.361	2.535	9.1	6.9	16.0	56.9		7.21	26

(注1) ⑤-④
 (注2) $\frac{③}{⑥}$
 (注3) $(1 - \frac{⑦}{⑧}) \times 100$

現場配合まとめ

混合物の種類 アスファルト安定処理

報告年月日 2026年2月

試験者 津田 喜明

配 合 表				合 成 粒 度		
種 類	骨材配合 (%)	混合物配合 (%)	計 量 値 (kg)	ふるい目	通過質量百分率 (%)	粒 度 範 囲 (%)
4 BIN	22.0	21.1	211	53.0mm		100
3 BIN	22.0	21.1	211	37.5		95 ~ 100
2 BIN	15.0	14.4	144	31.5		
1 BIN	35.0	33.7	337	26.5	100.0	
ダスト	2.0	1.9	19.0	19.0	99.8	50 ~ 100
石粉	4.0	3.8	38.0	13.2	77.7	
				9.5		
				4.75	54.1	
				2.36	40.1	20 ~ 60
アスファルト		4.0	40.0	1.18		
				600μm	22.1	
				300	11.7	
				150	7.3	
				75	5.4	0 ~ 10
計	100.0	100.0	1000.0			

最適アスファルト量

OAC・・・ 4.0 %